

(別添)

# 長崎県上五島病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年10月 策定

【長崎県上五島病院の基本情報】

医療機関名：長崎県上五島病院

開設主体：長崎県病院企業団

所在地：長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 1 5 4 9 - 1 1

許可病床数：1 8 6 床

（病床の種別）一般 1 3 2 床、感染 4 床、療養 5 0 床

（病床機能別）急性期 1 3 2 床、回復期 3 6 床、慢性期 1 4 床

稼働病床数：1 8 6 床

（病床の種別）一般 1 3 2 床、感染 4 床、療養 5 0 床

（病床機能別）急性期 1 3 2 床、回復期 3 6 床、慢性期 1 4 床

診療科目：内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、小児科、  
産婦人科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、  
皮膚科、精神科、リハビリテーション科

職員数：

- ・ 医師 2 3 人
- ・ 看護職員 1 3 8 人
- ・ 専門職 4 8 人
- ・ 事務職員 4 0 人

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

○上五島区域で唯一の入院機能を有する中核病院として、長崎県上五島病院が急性期から慢性期の医療を担っている。

○高度急性期に関しては心臓手術、動脈瘤破裂、くも膜下出血、未熟児など長崎県上五島病院で対応できない患者は島外へ搬送している。

○入院患者の受療動向を見ると、上五島区域に精神病床がないことから長崎区域、佐世保県北区域への流出が多くみられる。

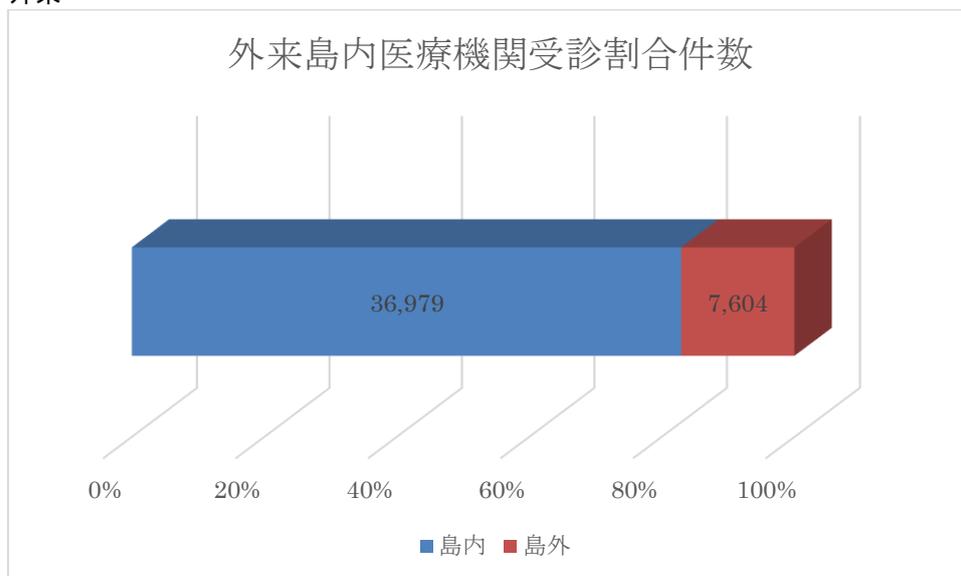
・上五島地区の国勢調査人口・将来人口の推移

	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
全人口	27,559	25,039	22,074	19,599	17,497	15,496	13,645	11,946	10,374
高齢者	6,881	7,432	7,382	7,366	7,412	7,256	6,854	6,321	5,679
高齢者割合	25.0	29.7	33.4	37.6	42.4	46.8	50.2	52.9	54.7

国勢調査（総務省）のデータを市町村合併を考慮して独自に集計したもの

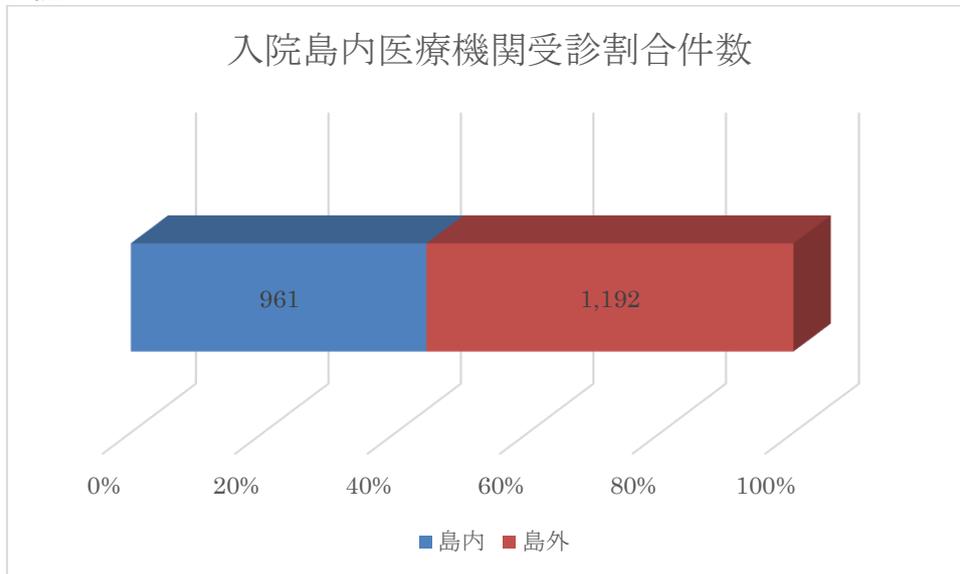
・平成28年度新上五島町の医療機関利用状況

外来



※新上五島町国民健康保険被保険者の地域別医療機関利用内訳表参考

入院



※新上五島町国民健康保険被保険者の地域別医療機関利用内訳表参考

② 構想区域の課題

○本県で最も人口減少率が高い区域であり、将来は医療や介護を担う人材が不足し、民間の診療所や薬局、介護保険施設等の事業継続が困難となる可能性が予想される。

○人口の高齢化にともない慢性期医療を受けた後の患者の受け皿となる在宅医療等の体制が十分に確保されていない。

・上五島区域別の就業看護職員数

		合計	保健師	助産師	看護師	准看護師
県計	常勤換算	23,665.4	650.9	375.5	15,549.8	7,089.2
	人口10万対	1,708.0	47.0	27.1	1,122.3	511.6
上五島	常勤換算	253.0	18.7	5.0	148.7	80.6
	人口10万対	1,113.9	82.3	22.0	654.7	354.9

※厚生労働省「平成26年度衛生行政報告例」参考

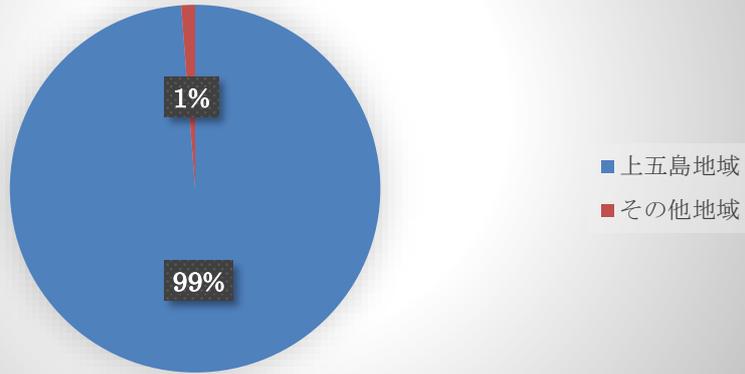
・上五島区域別の就業医師・薬剤師数

		医師	薬剤師
長崎	実数	2,027.0	814.0
	人口10対	373.1	152.1
上五島	実数	31.0	18.0
	人口10対	125.7	79.3

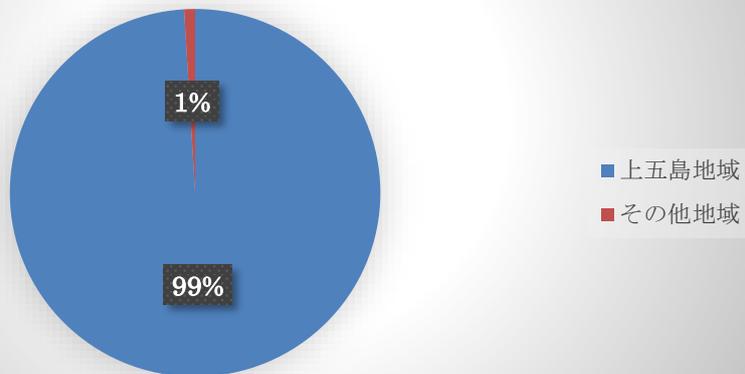
※厚生労働省「平成26年度衛生行政報告例」参考

・平成28年度新上五島町入院医療の自己完結率

### 平成28年度入院医療の自己完結率 一般病棟



### 平成28年度入院医療の自己完結率 療養病棟



### ③ 自施設の現状

○病院の理念 地域と共に歩み、信頼され親しまれる病院。

○診療実績 一般病棟10対1入院基本料、地域包括ケア病棟入院医療管理料1、療養病棟入院基本料2  
平均在院日数一般病棟16.3日 療養病棟74.4日 病床稼働率85.1%

○職員数（医師23人、看護職員134人、その他専門職員48人、事務職員40人）

#### ○施設の特徴（5疾患）

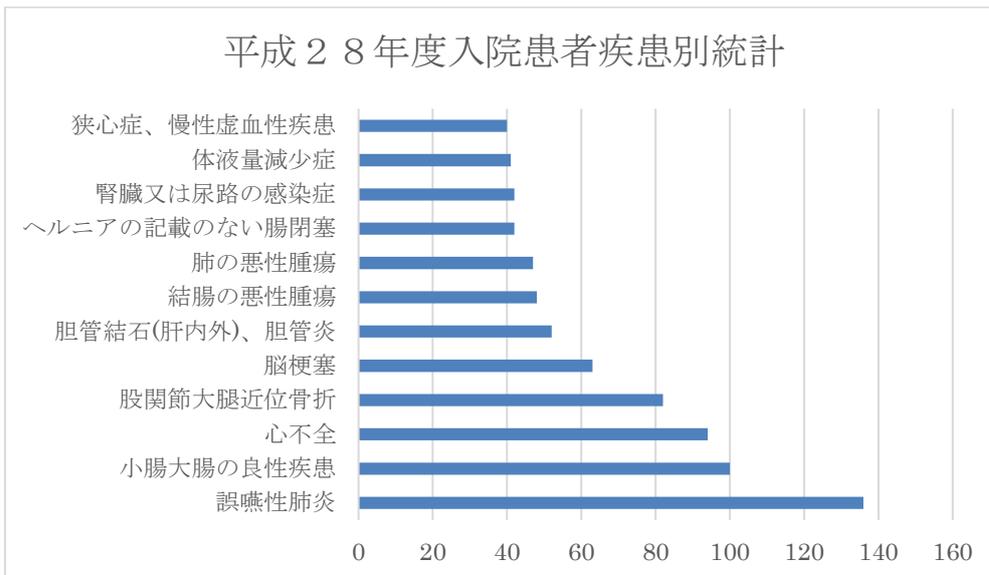
- ・上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、回復期、慢性期を提供している。
- ・がんについては「長崎県がん対策推進計画」において、がん診療離島中核病院に指定され、離島におけるがん診療の質の向上、がん化学療法及び緩和ケア等を行っている。
- ・脳卒中については内科医師と外科医師が協力して脳卒中の診療にあたっている。手術治療の対象にならない脳梗塞は内科が、手術治療が必要になる脳出血やくも膜下出血は自衛隊ヘリやドクターヘリなどによって本土の病院へ搬送するシステムが確立されている。
- ・急性心筋梗塞については平成28年5月より緊急カテーテル治療（PCI）を行っている。状況に応じて冠動脈ステント留置をはじめとして種々の治療器具を使用し、最善の結果が得られるよう努力している。
- ・糖尿病については平成29年4月より糖尿病専門外来を設置し、発症後の安定した血糖コントロールや教育指導を通して、合併症予防や進行防止を積極的に行っている。長崎大学病院より腎臓内科専門医に月2回診療派遣を行ってもらい糖尿病性腎症の治療に取り組んでいる。

#### ○施設の担う政策医療（5事業及び在宅医療）

- ・精神疾患については精神科を標榜し週4回非常勤医師で外来対応している。上五島地区は高齢化率が高く認知症の患者が多い、平成29年4月より「もの忘れ外来」を設置し対応している。
- ・救急医療については医師1名、看護師1名、各診療科1名ずつをオンコール体制で待機している。初期救急（1次救急）は1人の医師が全て対応。2次救急の場合は各科の専門医が対応。心臓手術、動脈瘤破裂、くも膜下出血、未熟児等離島で対応できない患者はドクターヘリなどを利用して島外の病院へ速やかに対応している。
- ・災害医療については地域災害医療センターとしての役割を持つとともに、災害の急性期に対応できる医療チームDMATを配備している。
- ・へき地医療についてはへき地拠点病院の指定を受け、へき地診療所への代診医師の派遣、へき地従事者に対する研修、遠隔医療等の各診療支援を行っている。
- ・周産期医療については産婦人科医師2名体制で対応している、切迫早産などの重篤な患者については自衛隊ヘリやドクターヘリなどによって本土の総合周産期母子医療センター等へ搬送するシステムが確立されている。
- ・小児医療については上五島地区に小児科医師常勤の施設は当院のみであり、医師2名体制で診療の充実、周産期医療の充実、母子保健、学校保健の実践などを行っている。
- ・在宅医療については訪問看護ステーションを併設し、地域医療連携室を中心とした在宅医療の提供を行っている。

・平成28年度上五島病院入院患者疾病別統計（ベスト12）

疾患名	件数
誤嚥性肺炎	136
小腸大腸の良性疾患	100
心不全	94
股関節大腿近位骨折	82
脳梗塞	63
胆管結石(肝内外)、胆管炎	52
結腸の悪性腫瘍	48
肺の悪性腫瘍	47
ヘルニアの記載のない腸閉塞	42
腎臓又は尿路の感染症	42
体液量減少症	41
狭心症、慢性虚血性疾患	40



※DPC様式1 データ分析参考

④ 自施設の課題

○地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政、他医療機関、介護施設等との連携及び在宅医療の支援。

○ODPC導入による医療の質の向上、経営の効率化。

○看護師をはじめとする医療従事者の高齢化等を踏まえ、医療技術修学資金貸与制度等により、計画的な確保を図る必要がある。

・上五島病院決算推移

(単位:千円)

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
医業収益	3,060,058	3,016,452	3,095,310	3,299,962
医業外収益	373,894	377,231	366,663	402,147
附帯事業収益	25,840	35,282	28,817	34,408
特別利益	781	28,438	1,173	6,341
総収益	3,460,573	3,457,403	3,491,963	3,742,858
医業費用	3,194,646	3,308,600	3,392,252	3,695,623
医業外費用	75,332	93,034	154,454	138,101
附帯事業費用	29,466	33,075	46,487	43,540
特別損失	5,660	128,205	23,400	21,155
総費用	3,305,104	3,562,914	3,616,593	3,898,419
医業収支差	-134,588	-292,148	-296,942	-395,661
経常収支差	160,348	-5,744	-102,403	-140,747
総収支差	155,469	-105,511	-124,630	-155,561

入院

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
延患者数	56,964	54,831	55,704	57,745
1日平均患者数	156	150	152	158
単価	32,688	32,475	32,011	34,207
病床利用率	84	81	82	86

外来

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
延患者数	132,604	126,979	128,173	124,881
1日平均患者数	544	520	528	516
単価	7,736	7,895	8,474	9,457

・看護師修学生推移

区分	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
看護師	3	3	1	2	5

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

○上五島地区には入院機能を有する病院が当院しかなく、急性期から慢性期まで全ての医療を提供。

○地域包括ケアシステム構築に向けて行政、他医療機関、介護施設等との連携体制の構築。

② 今後持つべき病床機能

○平成28年度、長崎県上五島病院の療養病床（50床）のうち、36床について地域包括ケアシステムへ転換しました。今後の療養病床（14床）のあり方については、平成30年度の診療報酬改定で療養病棟入院基本料2が廃止となる、医療需要や後方支援施設等の整備状況を踏まえて検討する。

○将来回復期の病床が不足されると予想され、一般病床からの変更が必要とされる。

③ その他見直すべき点

○当面は現状の病床数が必要、今後の医療需要の推移を加味して、最適な病床規模について検討必要。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	132床		132床
回復期	36床		50床
慢性期	14床		0床
(合計)	182床		182床

- ・平成29年3月末日で診療報酬、療養病棟入院基本料2廃止予定。
- ・療養病床14床を慢性期から回復期に変更。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○慢性期14床を回復期へ変更検討	○平成30年度診療報酬改定にて決定	
2018年度	○回復期36床から50床に変更		
2019～2020年度			
2021～2023年度			

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床稼働率：85.5%</li> <li>・ 手術室稼働率：90%</li> <li>・ 紹介率：16.5%</li> <li>・ 逆紹介率：8.7%</li> </ul> <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費率：62.4%</li> <li>・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：0.6%</li> </ul> <p>その他：</p>
---

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--